

事業所名

放課後等デイサービス くぬぎの森

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念		「あそんで 学んで 大人になる」 子ども達の成長は、勉強して学ぶだけが全てではありません。 目の前のものへの興味が挑戦への入り口になり、楽しむ経験が物事を深く考える工夫の入り口になり、仲間を作る事がルールやバランスの大切さを知るきっかけになります。 発達に遅れや偏りがあっても、自分なりのペースや分野で発達のきっかけは探せます。 くぬぎの森は利用者さんの個性に寄り添いながら、そのきっかけを守る場でありたいと考えています。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ひとりひとりの個性の違いを念頭に置き、伸ばすべきものを見極めて取り組む ・集団生活のルールを伝え、失敗しても前向きに考える力を育てる ・いのちを大切にできる優しい心を育てる 					
営業時間		12時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化や活動の前後等から、更衣への声掛け誘導等により服装管理のリズムを作る ・外から戻って来た時の手洗い消毒等、実施を習慣化して衛生管理の意識を育てる ・クッキング等の食品を扱う活動を通じて、食品の扱い方や衛生意識を育てる ・トイレのペース管理や一人での排泄など自分で出来る事を増やし、失敗時の対応を含めて学べる場を作る ・畑での野菜作りを通じて、野菜への関心を育てる（食育） 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外では全身を使った運動、屋内では手先を使った活動等で自分の身体をイメージ通りに動かせる練習場を作る ・身体を動かす運動の中で他の人との接触リスク等の理解を促し、安全への意識や適切な距離感を育てる ・ハサミやシールを使う作業を通じて手指の役割分担や、扱う素材の強度等への理解を育てる 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・時計を見て動く、活動の前後の流れを理解して見通しを作る等の時間の感覚を育てる ・活動の開始時間や終了時間を意識し、気持ちの切り替えや片付けなど次への準備の習慣を育てる ・利用者本人が時間や空間などの感覚的な理解が難しい場合、ヘルパーが傍で活動を共有しながら感覚理解の実例を示す等して理解を促す 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたい事や直面した困難な事を言語化し、相手に伝える。難しい場合はヘルパー側から言葉の例を提示出来るようにし、自分の訴えたい状況に適した言葉や表現を獲得する ・自分の要望が直ぐには通らない時に時期や内容の代案を立てる等、納得できる答えを探る経験を積む ・他の利用者やヘルパーからの状況説明で相手の立場を理解し、それを踏まえた答えを出せる経験を積む。ヘルパーは必要に応じて言語だけでなく絵図等も用い、理解を助ける 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で同じ活動に取り組む事で、連帯感や協力意識を感じる機会を作る ・絵カード等のSTT教材を活用し、上級生への接し方や下級生への接し方を意識するきっかけを作る ・利用者が相手への配慮をして助けた時にはヘルパーが本人に伝わる形で正しく評価し、本人の社会性獲得の動きに対して成功体験を作る 					
家族支援		連絡帳や個別Lineを通じて頻繁な情報交換を維持し、直近の状況の変化に対応出来る体制を作る ・デイサービスに関する事以外でも関係機関の紹介などアドバイスを行う			移行支援		・進学や就職などのライフステージの変化に対して、個別課題等による準備期間を作ったり進学先や就労先等への情報提供を行う
地域支援・地域連携		・季節行事に合わせて地域の事業所を訪問する等、地域の機関と継続的な関係を作る			職員の質の向上		・オンラインを含めた外部講習を利用し、新しい情報や外部の視点を取り入れる機会を作る ・資格取得の機会を作り、スキルアップを図る
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事 ・避難訓練 ・ファーム活動（野菜の収穫等） 					